

# 久留米の自然



久留米の自然124号

2015年5月1日

和名：アオモジ

学名：Litsea citriodora Hatusima

撮影場所：福岡市植物園

撮影年月日：2015年3月10日

撮影者：猪上 信義

## アオモジ (クスノキ科)

猪上 信義

耳納山地の林道周辺や明るい林内及び林縁附近で、3月中頃に黄色の花をつけた樹木を見ることがあるでしょう。枝が緑色でしたら、ほぼアオモジでしょう。

これはクスノキ科の落葉小高木で、背丈は通常3~4m程度ですが、稀に6~7mに達するものもあります。雌雄異株で、雄花の方が大きくて見栄えがいいので、写真や切り花の対象となるのは、たいていこの方です。

アオモジは九州西回り分布植物の代表とされ、琉球列島、鹿児島県西部、熊本県南西部、長崎県、佐賀県西部には以前から自生しているものの、福岡県には知られていませんでした。しかし1970年代後半に二丈町(旧町村名で表記、以下同様)、玄海町、田主丸町などで群生地が見つかり、その

後も各地で発見され、今では県内各地に点在しています。田主丸のものは、近隣樹園地で栽培されていた木から、野鳥により種子が運ばれ、分布を広げたものと考えられます。またアカメガシワ、カラスザンショウ、クサギなどと並んで代表的な先駆(パイオニア)植物です。そこで初めは草地や林縁、林道脇などに群生しますが、年月を経て常緑樹などが繁茂すると、次第に姿を消し、他の明るい場所へ移動します。

雌株は当然実をつけますが、どういうわけか雌株にくらべて圧倒的に少なく、また熟すとすぐに野鳥に食べられるようで、野外で実を見ることはあまりありません。ぜひ実の付いた木を見つけてください。

## 高良川流域のキノコ(その26)

角 正博

今回は、カンバタケ属のキノコです。旧分類では多孔菌科カンバタケ属とされていましたが、新分類ではツガサルノコシカケ科カンバタケ属となっています。「高良川流域のキノコ」では、原則として『原色日本新菌類図鑑』(保育社)を基本にしているので、ここで扱っておきます。

46. シロカイメンタケ(白海綿茸) *Piptoporus soloniensis*

傘は半円形、厚さは1~2cm程度です。背面には不規則な凸凹があります。若い時は美しい鮭肉色、朱紅色~淡紅色で肉質も柔軟性があります。成熟し乾いていくにしたがって次第に色あせて淡黄色となり、さらに白くなっていった肉質も硬くなり、フェルト質になっていきます。高良川流域では、シイカシ林などの広葉樹林内の倒木に見られます。

マスタケとよく間違えられるように、私も最初見つけた時は、とっさにマスタケかと思いました。マスタケは株状になるそうですが、シロカイメンタケは1個~数個発生しても、ほとんど重生することはありません。また、マスタケは主に秋に発生することが多いそうですが、シロカイメンタケは暑い季節(夏頃)に見かけるようです。さらにシロカイメンタケは、味見をしてみると酸味があるといわれています。



シロカイメンタケ

## 生き物に魅せられて 62

ミバエの仲間の巻

松永紀代子

2013年の春、福岡で桜が開花したとニュースになった翌日、庭のミツバアケビのツルにミバエがとまっていた。オレンジ色の体に緑色の眼。翅の斑模様が洒落ている。

ミツバアケビのツルの先は、まだ開葉前の新芽の重みで垂れ下がっている。ちょうど半円形の弧を描く形だ。どうもその場所が気に入っているらしい。ミバエは翅をこれ見よがしに震わせたり開いたりしてツルの上を歩いている。

すぐ側の別々の葉の上に、同じミバエが2頭いる。これは面白そうだ。ツルの上のものはめで、愛をささやいているのだろうか?

と、葉の上の1頭がツルの上にとまった。前からいたミバエの翅の震わし方が激しくなった。2頭とも翅を動かしながら近づいていった。お互い鼻面をつき合わせ、まるで押し相撲だ。このまま交尾するのだろうか……。あっ、後から来た1頭がぐるりと後ろを向いた。すかさず最初にいたものが、口器をエイとのぼした。後から来た1頭は茎から逃げ出した。そうか、これは彼らの縄張り争いだったのだ。

他のミツバアケビのツルはどうだろう。いたいた。同じように丸く垂れ下がったツルにそれぞれ陣取り、翅を震わせている。そのうちに、このツルの上で求愛行動が見られるだろう。こうして、春が深まっていく。

## 高良川流域の地衣類 (その14)

角 正博

6. コアカミゴケ(小赤実苔) *Cladonia macilenta*

コアカミゴケもハナゴケ科ハナゴケ属の地衣類です。コアカミゴケは、ハナゴケ属の中ではコアカミゴケ類にまとめられます。このコアカミゴケの仲間は、「①子柄が灰白色～灰緑色であること。②子柄の先端には、赤色の子器を持つこと。」を特徴とするグループです。

コアカミゴケ類の中で、国内で最も普通に見られるのがコアカミゴケです。その子柄は単一棒状で、長さは1～2.5cm程度です。子柄の先端には、赤色の球状～平たくつぶれた球状の子器をつけます。小さなコケですが、近寄ってみると、この鮮やかな赤色が大変印象的です。コアカミゴケの場合、子柄の全面に粉芽(栄養生殖のための、菌糸で藻類を包んだ微細な菌糸塊)が粉状に密生しています。

筑後地方では、久留米市の耳納山系や八女市の筑肥山系、みやま市の女山などで見られるように、日当たりのよい林縁の土崖上や岩上に生育していることがほとんどです。ときには、みやま市の御牧山、大牟田市の焼石山のように林縁の倒木上や樹幹基部に生育していることもあります。このようにコアカミゴケは、林縁などの日当たりがよいところを好みます。しかし、同じハナゴケ属のヒメレンゲゴケやヒメジョウゴケに比べると、大気汚染には非常に弱いようで、工場の多い都市部や交通量の多い平野部では生育できません。コアカミゴケは、都市から離れた山間地でしか出会えないコケです。

高良川流域では、高良内町の2地点で確認しています。一か所は岩上、もう一か所は不用となって露地に放置されたマットの上に生育しています。藻類と共生する地衣類ですから、日当たりがよいところであれば、あまり着生基物は問わないようです。



コアカミゴケ

ひととき 動物笑い話 その68

イボイノシシ 米田 豊

一頭の立派なイボイノシシの雄が雌達の近くを横切った。「見て見て! あのお方、お顔もイボも大きくて、飛び出した目や牙も立派でイケメンね」「風を切る黒くて長いたてがみも素敵ね。うっとりするわ」「脚も長くて速そうで、格好良いよね」「パッドも大きいからきつと食事には不自由無しで、生活力があるよね」「私、彼にアタックしようかな」「私も」「私こそ」と雌達は色めき立った。雌達は我先にとばかり怒とうの如く雄に向かって突進した。雌達を意識しながらも、通り過ぎようとした雄は雌達の迫力に圧倒され、房のある尾をまっすぐ立てて急いで走り去った。その尾には目に見えない白旗が掲げられていたようだ。\*イノシシ科に属し、体調が約1.5m、肩高が約80cm。サハラ以南のアフリカに分布。普通、肘を曲げてパッドのある手首を地面につけて採食する。イノシシの仲間人間感覚で言う「醜さ」の1、2位を争うのは本種とインドネシアに分布するバビルサでは。



<b>例会報告</b>
-------------

**第417回例会****草野の歴史と文化と自然探訪 梅野 忠**

12月13日が近くになったので草野歴史資料館に申し込んだところ関係ないとのこと、その後橋田会長から参加の要請があり友人をつれてくるようにとの事で、友人とバスで行くことにしました。

資料館では橋田会長がお待ちでした。1時樋口一成氏の説明を資料館で聞く。館内に10数人が入り先ず、草野の位置を示す地図を見る。若宮八幡宮絵縁起、観興寺絵縁起の説明をうける。

草野氏の歴史は1164年永経、永平父子が肥前高木より筑後吉木に入国して始まる。源平合戦に際しては、平家軍を破って源氏方の勝利に貢献する。その功により1186年頼朝により筑後国在国司・押領使職に任ぜられた。それから元軍の襲来や南北朝時代安土桃山時代をへて豊臣秀吉に1588年に南関で誘殺されるまで約425年間続いた話を聞く。その後、世界のつばき館見学にゆく、ツバキ展施設のガラスハウスを見て情報交流施設で学び、ツバキ庭園を楽しみました。

館長から説明を受けお土産に椿油のサンプルを頂き解散となりました。

私は、自然探訪で町並みの説明があるものと友人と期待していたのですがそれが省略され歴史資料館の展示物の説明で終わったのが残念でした。草野はつつじマーチで歩いたのですが次は発心公園の花見をしてゆっくり歩いて探訪したいと思った次第です

**感想文****久留米市山川町 有田孝明**

草野町の歴史がよくわかりました。

**久留米市山川町小学4年生 中野龍星**

僕が住んでいる山川町のとなりの草野町に昔、こんなスゴイ人がいたのを知りました。

**久留米市山川町 中学3年生 中野楓紀**

若宮八幡宮の縁起にその頃の人々の楽しそうな絵が描いてあり、又その中に色んな動物が11種類ほど描いてあり（牛、馬、にわとり、しか、鳥、犬、猫）等、大変おもしろかった。



草野歴史資料館（改装中）



世界つばき館で館長の話聞く

**筑後川支流金丸川水系水質生態調査研究経過報告書**  
**(平成9～10年～24年) 16年間 調査研究**  
**者 野口勝司 (発行久留米の自然を守る会)**

当会の会員である野口勝司氏が2015年2月1日に筑後川防災施設くるめウスにて、報告書をもとに発表された。参加者21名が熱心に聴き10名の方から感想文がよせられた。さらに、2010年～2014年までの5年間の「鳥類の変遷」(秋～冬11月～2月4ヶ月間)の報告が追加された。また、まとめとして鳥類の生態系に影響ある要因として推察される事柄が示されている。

**「鳥類の変遷」追加報告**

2010年～2014年までの5年間の鳥類の変遷(秋～冬)11月～2月4ヶ月間

水域	年度 種類	2010年	2011年
A 金丸川	コサギ	46	34
	アオサギ	12	16
	ハクセキレイ	11	7
	イソシギ	4	
	カササギ	10	
	ドバト	2	1
	スズメ		
	ハシブトガラス	134	
	カモ類		10
B 金丸川と池町川の交流域	コサギ	14	13
	アオサギ	9	9
	ハクセキレイ	4	6
	カササギ		
	カモ類	420	420
	ドバト	10	
C 池町川下流域	コサギ	25	4
	アオサギ	17	8
	ハクセキレイ	20	18
	イソシギ	3	1
	カモ類	1	
	ハシブトガラス		5

	ドバト		
観察回数 (4か月間)	観察時刻満朝時 雨天の翌日	108	108

水域	年度 種類	2012年	2013年	2014年	備考	
A 金丸川	コサギ	25	29	21	減少	
	アオサギ	9	7	8	減少	
	ハクセキレイ	18	16	21	不定	
	イソシギ	5		1	不定	
	カササギ	13	8	7	不定	
	ドバト	15	22	26	増加	
	スズメ		150	60		
	ツバメ		40			
	カモ類			4		
	ハシブトガラス			100	不定	
B 金丸川と池町川の交流域	コサギ	4	9	3	減少	
	アオサギ	7		1	減少	
	ハクセキレイ	16	2		減少	
	カササギ		2			
	カモ類	90	320	600	増加(回復)	
	ドバト		4		不定	
	ハシブトガラス			130	不定	
	C 池町川下流域	コサギ	9	9	6	減少
		アオサギ	5	3	3	減少
		ハクセキレイ	20	9	8	減少
イソシギ				2	不定	
カモ類			24	35		
ドバト		9				
ハシブトガラス				30		
観察回数 (4ヶ月)		102	112	110		

鳥類の生態系に影響ある要因として、次に示す事柄が推察される。金丸川水域と池町川水域下流の環境から考察した場合地形上相違点が水域の範囲を金丸川水系の中下流域と判断することによって、以下の項目が考えられる。

- ①池町川下流域の水田地帯は現在、工業団地、住宅地に変わり鳥類の生息水域が大きく減少された。
- ②金丸川中、下流域沿岸の道路改築、拡張工事で交通量の増加騒音による鳥類の活動範囲が縮小された。
- ③数年前から山を追われたハシブトガラスが大挙移住してきた。この為、ほかの鳥類が一時退避した。

今後、鳥類の生態系がどう移り変わっていくか、周囲の環境の変化に寄るところが大きく影響するものと思われる。

## 感想文

### 久留米市津福本町 宮原信孝

20年間のご研究に敬意を表します。狭い地域と言われますが、定点観測による深い洞察が見てとれます。このような研究が市民生活に広く活かされることを希望します。

### 久留米市西町 北川 定

永年にわたり個人で調査されたこと感動致しました。水質が大分良くなり生物等存在種類の説明を受け多いことを知り安心しました。(特に魚類等が増え子供達が喜んで川で遊ばれるようになると良いです)時間が少なく残念でした。(ありがとうございました)

### 久留米市東櫛原町 森山智雄

市井の方が地道な努力をかさね研究調査された事に敬意を表します。身体に留意し今後も調査を続けて環境を守ってください。

### 辻丸祥子

長い期間、定点観測を続けてこられたことに感銘を受けました。

### 久留米市御井町 若林春美

講演会は身近な地誌の変遷がわかり楽しく聞かせていただきました。

### 久留米市梅満町 黒岩千代子

時々、金丸川添いを散歩しています(聖マリア付近ですが・・・)河川工事終了後何とはなく気になっていました。以前の自然が変化したと感じていました。でも水質に大きな変化が無いとの由、安心しました。出来る事からエコライフを実践して行きます。現在、食器用洗剤を可能な限り使用しない様になっています。今後いただいたレポートを手にしながらか散歩しようと思いました。

### 久留米市山本町豊田 上野健三郎

16年の永きに亘って金丸川、池町川の水質、水中生物(虫、昆虫、魚、鳥など)の生息状況の変化を調査され感心しました。今後、河川改修方法、雨水、家庭排水の処理方法について工事を進める為に参考になると思います。

### 久留米市津福本町 塚本篤行 美知子

日頃から身近に感じていたことを詳細に説明してもらい、近頃、浄化が進んでいるということで一安心しているところです。

### 久留米市野中町 小宮春平

段取りが悪くわかりづらい。スクリーンを把握しながら話すのではなくできたらもっと分りやすく話してほしい。資料の魚や水生生物は、いつ捕獲したのかわからない。ゲンゴロウやタガメ等は見たことがない。今なお生息しているかはあやしいと思います。(3年間しか通っていませんが)また、タイワンドジョウは生息していません。放流

されたのは関西等に限られますし、九州にいるのはカルムチーです。それと、私がこれまで全九州で捕獲した7体はいずれもカルムチーです。あと、「最近は見ない」という種も、私は相当数つかまえています。私は、金丸川、池町川にいるソウギョについて気になります。バルーン堤以下に水草がないのは、ソウギョの影響なのではないのでしょうか？

### 久留米市津福今町 大石喜一郎

身近な金丸川の総合的なデータを広範囲でしかも長い期間にわたる調査・研究と共にまとめられた成果に感服いたしました。自然を守る会の活動として大変充実したものと思います。



筑後川支流金丸川水系水質生態調査研究経過報告書

### ボランティア植樹会に参加

大木 武彦

平成27年1月25日(日)、久留米市農政部生産流通課主催のボランティア植樹会が、高良山森林つつじ公園隣接の市有林で行われた。当会からは、かねてより登録の森林ボランティアの中から、橋田会長、大木、中野の3名が参加しました。当日は気温14度快晴で、春を思わせる温かい天候に恵まれました。

参加した15名の登録森林ボランティアは、安全のため全員がヘルメットを被りました。植樹場所は森林つつじ公園駐車場外縁の西側と北側のかなり急な斜面でした。各人が鍬で穴を掘り、西側にはツバキの苗100本、北側にモミジの苗100本を植えました。それぞれ1本1本の苗ごとに添え木の青竹を立て、ひもで結び付け、さらに自分で書いた思い思いの樹名板を取り付けました。

主催者の久留米市と我々森林ボランティアの協働作業で、9時半に植樹を開始して11時半に事故もなく終了しました。自分たちの手で植樹したツバキとモミジの苗200本が、すくすくと成長することを祈りつつ昼食後流れ解散しました。

清々しく楽しい植樹ボランティア活動の一日でした。



植樹作業中です。

## 平成27年総会開催

日時 平成27年2月1日 場所 くるめウス

総会議案を掲載します。全議案可決承認されました。

## 第1号議案平成26年度活動報告、補助金の件

## 1、例会開催

月日	NO	内容	内容・その他	人数
1月19日	411	平成26年度総会 総会記念講演会講師古賀輝人	場所筑後川防災施設くるめウステーマ「文化人類学的な目で楽しむ南米旅行」新年会10名	総会9名講演会20名
3月31日	412	筑後川の野草を愉しむ会雨天中止	場所筑後川防災施設くるめウス共催筑後川まるごと博物館運営委員会	0
5月26日	413	高良山樹木の名札付け	場所高良山北面コース遊歩道 共催久留米市農政部生産流通課	26名
7月27日	414	キノコの自然観察会とキノコカレー講師金子周平	場所高良山演習場周辺	22名
9月6日	415	筑後川観月会天体観測講師吉田哲磨雨天中止	場所筑後川防災施設くるめウス	0
10月20日	416	ネイチャーゲームと自然観察会	場所高良山共催久留米市農政部生産流通課	23名
12月13日	417	草野の歴史と文化と自然探訪	場所草野歴史資料館、世界ツバキ館と久留米ツバキ園	15名

## 2、会報「久留米の自然」発行

号数	発行年月日	表紙写真	ページ数
120	2014年1月1日	皮膚と紫外線と犬(古賀輝人)	10ページ
121	2014年5月1日	キンメイモウソウウチク(猪上信義)	10ページ
122	2014年9月1日	越冬したルリタテハ	10ページ

3、総会、会議等 ※幹事会兼事務局会議は毎月第1水曜日に開催\*午後7時30分より)

月日	会議名	場所
1月8日	幹事会兼事務局会議	えーるピア久留米2F
1月19日	平成26年総会	くるめウス
3月5日	幹事会兼事務局会議	えーるピア久留米2F
5月7日	幹事会兼事務局会議	えーるピア久留米2F
7月2日	幹事会兼事務局会議	えーるピア久留米2F
9月3日	幹事会兼事務局会議	えーるピア久留米2F
11月5日	幹事会兼事務局会議	えーるピア久留米2F

## 4、懇親事業

1月19日(日)新年会 「ビストロ飯田」

## 5、他団体への協力

月日	内容	場所(主催者)
7月21日	河川愛護月間展示と発表 古賀	くるめウス
11月23日	緑のハイキング講師 橋田・角・中野・梅野	高良山:兜山(緑の市民会議)

## 6、補助金

福岡都市圏広域行政事業組合から、平成26年8月4日に環境対策支援補助金17万円を頂きましたことを報告します。

7、第Ⅲ期「身近な植物」ボランティア養成講座  
6ヶ月:4月~9月まで月1回土曜日に実施 受付 9:30 10:00~12:00 集合 高良山大社前境内 講師 橋田沙弓  
実施日 26年4月~9月コースは高良山の樹木を中心に行う1回目 4月26日 テーマ 森林公園 資料作成 4名  
2回目 5月31日 テーマ 森林公園 資料作成 4名  
3回目 6月28日 テーマ 環境保全林 資料作成 4名  
4回目 7月26日 テーマ 環境保全林 資料作成 雨天  
6回目 9月27日 テーマ 小寺林道 資料作成 2名  
第Ⅳ期「身近な植物」ボランティア養成講座6ヶ月:26年10月~27年3月、月1回土曜日



1回目 10月26日 テーマ 小寺林道 植物  
写真撮影 資料作成 4名  
2回目 11月30日 テーマ 小寺林道 植物  
写真撮影報告 6名  
3回目 12月20日 水盛り自慢 in 北九州  
北九州市立大学で発表3分間 4名  
平成27年  
4回目 1月31日 テーマ 元御井町公民館前  
9:30集合 高良山林道 中止  
5回目 2月28日 テーマ 元御井町公民館前  
9:30集合 高良山林道入口からフデリンドウ、  
スマレ各種、春の草本を調べる。  
6回目 3月28日 テーマ 食べられる野草採  
取 柳坂バス停集合9時半  
ツクシ、オランダガラシ、ハコベ、ヤブカンゾウ、  
セリ、オドリコソウ、ノビル、ナズナ、アブラナ  
ヤブツバキ、ヨメナ等

## 第2号議案 平成26年度収支決算

収入の部

項目	平成26年度予算額	平成26年度決算額	比較増減額	備考
前年度繰越金	299,949	299,949	0	
会費	150,000	135,000	15000	1000円×1人 2000円×45人 4000円×8人 6000円×2人
例会行事費	15,000	4,200	10800	
読本代	10,000	2,000	8000	ひとつの川からみえるもの1冊
カンパ・利子	50,000	58,794	△ 8794	
補助金	230,000	170,000	60000	福岡都市圏環境対策補助金
雑収入		26,364	△ 26364	
収入の部合計	754,949	696,307	58642	

支出の部

会報作成費	140,000	105,600	34400	121号 122号
講師謝礼	25,000	13,500	11500	
通信費	30,000	30,437	△ 437	
印刷コピー費	30,000	420	29580	

文具費	40,000	29,249	10751	
事務局費	15,000	44,432	△ 29432	
行事費	85,000	7,143	77857	
使用料及び賃料	10,000	3,600	6400	みんくるロッカー
備品購入	70,000	229,350	△ 159350	
予備費	10,000		10000	
雑損失		14,862	△ 14862	
次年度繰越金	0	217,714	△ 217714	
支出の部合計	455,000	696,307	△ 241307	

## 第3号議案平成27年度事業計画承認の件

月日	NO	内容	内容・その他
2月1日	418	平成27年度総会記念講演会講師野口勝司氏	テーマ「筑後川支流金丸川水系・水質生態調査研究経過報告」(平成9-10年~24年) 16年間
3月29日	419	筑後川春の野草を愉しむ会	共催筑後川まるごと博物館運営委員会場所筑後川防災施設くるめウス
5月31日	420	高良山樹木の名札付け	場所高良山後谷コース共催久留米市農政部生産流通課
7月20日	421	キノコの自然観察会とキノコカレー講師金子周平	場所高良台演習場周辺
9月18日	422	筑後川観月会(くるめウス)講師吉田哲磨氏	会場筑後川防災施設くるめウス共催筑後川まるごと博物館運営委員会
10月18日	423	ネイチャーゲームと自然観察会	場所高良山共催くるめネイチャーゲームの会 久留米市農政部生産流通課
12月12日	423	御井町周辺の史跡探訪講師樋口一成氏	場所元御井町公民館前

## 2、会報「久留米の自然」発行

号数	発行年月日	表紙写真	ページ数
123	2015年1月1日	Deng熱の国内感染(米田豊)	8ページ
124	2015年5月1日		
125	2015年9月1日		

## 3、総会、会議等 ※幹事会兼事務局会議は毎月第1水曜日に開催(午後7時30分より)

月日	会議名	場所
1月10日	幹事会兼事務局会議、会報発送作業	千年屋印刷
2月1日	総会、環境講演会	筑後川防災施設くるめウス
3月4日	幹事会兼事務局会議	えーるピア久留米2F
5月6日	幹事会兼事務局会議 会報発送作業	えーるピア久留米2F
7月1日	幹事会兼事務局会議	えーるピア久留米2F
9月2日	幹事会兼事務局会議 会報発送作業	えーるピア久留米2F
11月4日	幹事会兼事務局会議	えーるピア久留米2F

## 4、懇親事業

2月1日(日)新年会 午後5時15分インドカレー「ビスヌ」

## 5、他団体への協力

7月19日 河川愛護月間展示 筑後川防災施設くるめウス パネル作成 古賀

## 6、第V期「身近な植物」ボランティア養成講座

6ヶ月：4月～9月まで月1回土曜日の開催  
集合 高良大社下宮社 9:00 9:00～12:00

講師 橋田沙弓

実施日27年4月～9月 高良内 後谷コース

1回目 4月25日 テーマ 照葉樹林の樹木

2回目 5月31日 テーマ 照葉樹林の樹木の名札付け(例会日と同じ)

3回目 6月27日 テーマ 照葉樹林の樹木林道まで

4回目 7月25日 テーマ 照葉樹林の樹木林道より上

5回目 8月29日 テーマ 照葉樹林の樹木林道より上

6回目 9月26日 テーマ 照葉樹林の樹木写真撮影

7 第VI期「身近な植物」ボランティア養成講座  
6ヶ月：10月～3月まで月1回土曜日に開催

1回目 10月31日 テーマ 照葉樹林の植物写真撮影 写真パネルの作成

2回目 11月23日 テーマ 緑のハイキングで発表 写真パネルで発表

3回目 12月19日 水もり自慢 in ? パワーポイントで発表

平成28年 高良大社下宮社 9:00集合 9:00～12:00

4回目 1月30日 テーマ 照葉樹林の植物

5回目 2月27日 テーマ 照葉樹林の植物

6回目 3月26日 テーマ 食べられる野草採集 柳坂バス停集合9時半

## 第4号議案 平成27年度収支予算

平成27年1月1日～12月31日

収入の部				
項目	平成26年度決算額	平成27年度予算額	比較増減額	備考
前年度繰越金	299,949	217,714	82235	
会費	135,000	150,000	△ 15000	
例会行事費	4,200	15,000	△ 10800	
読本代	2,000	6,000	△ 4000	
カンパ・利子	58,794	50,000	8794	
補助金	170,000	170,000	0	
雑収入	26,364	0	26364	
収入の部合計	696,307	608,714	87593	
支出の部				
会報作成費	105,600	140,000	△ 34400	
講師謝礼	13,500	25,000	△ 11500	
通信費	30,437	35,000	△ 4563	
印刷コピー費	420	30,000	△ 29580	
文具費	29,249	50,000	△ 20751	

事務局費	44,432	50,000	△ 5568	会計担当謝礼 5000円含む
行事費	7,143	85,000	△ 77857	
使用料及び賃料	3,600	20,000	△ 16400	みんくるロッカー等
備品購入	229,350	20,000	209350	拡声器
予備費		153,714	△ 153714	
雑損失	14,862	0	14862	
次年度繰越金	217,714	0	217714	
支出の部合計	696,307	608,714	87593	

### 第5号議案役員選任の件

会長 橋田沙弓 副会長 河内俊英、国分謙一  
幹事 丸山由紀子、角正博、石橋一也 事務局 古賀信夫、大木武彦、中野昭剛、梅野忠 会計 古賀信夫 会報編集 橋田沙弓、古賀信夫、大木武彦、丸山由紀子 会見監査 高山美子、安元康時 顧問 荒巻健二、松富士将和

### 備品一覧

デジタルカメラ (PENTAX NIKON) 双眼実体顕微鏡 (NIKONファープル) ビデオカメラ プロジェクター (ACER) スクリーン 野草料理調理用具一式 お茶会用具一式 カセットコンロ タイガーレスジャー (木目) パソコン デジタルパケットマルチ

書籍在庫 環境教育読本 ひとつの川から見えるもの 166冊



### 日本自然保護大賞の選考結果について

橋田 沙弓

昨年10月に公益財団法人日本自然保護協会の「日本自然保護大賞」に応募した結果が、全国より112の活動の中から、その成果と将来性、波及性の観点から厳正に選考された結果、当会の活動に各選考委員の期待の声があり、入選活動としてウェブサイトや授賞式のプログラム等で紹介するとのお知らせがありました。引き続き現在の活動を発展、推進して欲しい。来年度も是非応募してくださいと述べられています。

私たちは自然保護活動をはじめて44年目になります。これらの活動が認められたこと、112の団体の中から43団体の入選に入ったことを感謝もうしあげます。これからも更に一層の努力をしていきたい。そして、久留米市の自然保護運動にまい進していきたいと考えています。



日本自然保護大賞入選の賞状

## 《行事案内》

## ◇ 第420回例会：

## 高良山・樹木の名札付けと豚汁会

高良山後谷コースの樹木の観察と樹木の名札付けを行います。事前にFAXまたはTELで申し込みをお願いします。

〔日 時〕：5月31日(日) 雨天中止

〔集合・解散場所〕：高良内幼稚園駐車場

〔参加費〕：100円 定員30名

〔持参するもの〕：マイはし、茶わん、おわん、  
水筒、帽子、筆記用具

〔共催〕久留米市農政生産流通課

## ◇ 第421回例会：

## キノコの観察会とキノコカレーの会

高良台周辺の照葉樹林下のキノコ観察会をします。キノコの観察指導は金子周平先生です。事前にFAXまたはTELで申し込みをお願いします。

〔日 時〕：7月20日(月 祭日) 雨天決行

〔集合・解散場所〕：上津小学校運動場入口

〔集合・解散時間〕：9:00 14:30

〔参加費〕：200円 定員20名

〔持参するもの〕：マイスプーン、マイ皿、マイカップ、水筒、帽子、雨具、筆記用具

## ◇ 第422回例会：

## 筑後川観月会

月面観察と周辺の天体と星座を観察します。天体観測と星座の指導は吉田哲磨先生です。事前に申し込みをお願いします。

〔日 時〕：9月18日(金) 雨天中止

〔集合・解散場所〕：筑後川防災施設くるめウス

〔集合・解散時間〕：19:00 21:00

## ◇ 第6期「身近な植物ボランティア養成講座」

実施日 5月9日、5月31日、6月27日、

7月25日、8月29日、9月26日

集合解散 高良大社下宮社 9:00～12:30

## 《事務局だより》

ものすごく久しぶりに当会のホームページを全面改装しました。まだまだ情報量が少ないですが、これから徐々に充実させていく予定です。こんども前と同様CMSを使用しておりますが、最近はやりのワードプレスでやってみました。インターフェイスが全然ちがいますので最初はとまどいでしたが、あちこち触っているうちになんとかなるものですね。プラグインがものすごくたくさんあるようですので、以前のようにカウンターやフォトギャラリーを自前で用意しなくてもよいので楽ちんです。アクセスカウンターは前回より継続させていますのでもう少しで20万アクセスになります。いろいろな方がご覧になっているようです。アドレスは以下の通りです。ぜひご覧ください。(古賀信夫)

<http://kurumenoshizen.net>

## 1. 会員異動

なし。

## 2. 会費納入について

会費は、会の活動を支える源です。まだ、会費を納入していない人は振替用紙(口座番号01750-1-40114)に年会費2000円をご確認のうえ納入をお願いします。

## 3. 原稿募集

次号125は平成27年9月1日発行予定です。原稿の〆切は8月1日です。皆さんの原稿をお待ちします。

## 4. 幹事会兼事務局会議のご案内

幹事会(定例)は原則として奇数月第1水曜日の19:30～21:30まで、えーるピア2Fで行います。皆さんも気軽にご参加下さい。(5月13日、7月1日、9月2日)

## 久留米の自然

平成27年5月1日第124号  
発行 久留米の自然を守る会

E-mail [hashida@kurumenoshizen.net](mailto:hashida@kurumenoshizen.net)

発行者 橋田沙弓

事務局 〒839-0827

久留米市山本町豊田2320-6

TEL 51-7064 FAX 51-7065 (古賀)

印刷 千年屋印刷

TEL 43-2400 FAX 43-2408